



愛と健康の

かけはし

号外



編集・発行 情報委員会

神戸朝日病院

住所：神戸市長田区房王寺町3丁目5-25

電話：(078)612-5151

URL: <http://www.kobe-asahi-hp.com>

診療科目

- 内科
- 小児科
- 外科
- 整形外科
- 消化器科
- 循環器科
- 呼吸器科
- 神経内科
- 放射線科
- リハビリテーション科
- 肛門科

専門外来

- 乳腺外来
- 糖尿病外来
- 人工透析
- 医療相談
- 栄養相談
- 薬剤相談
- 人間ドック
- 健康診断

診療時間

【午前診・月～土】
受付8:00～12:00
診察9:00～

【夜間診・月～金】
受付17:00～18:30
診察17:30～

※ただし急病患者については時間制限なく診察いたします。

- 兵庫県肝疾患専門医療機関
- 日本医療機能評価機構認定病院
- 日本肝臓学会認定施設
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本消化器内視鏡学会認定施設
- 日本内科学会認定教育関連病院
- 臨床研修病院指定
- 日本医療薬学会研修施設
- 日本静脈経腸栄養学会認定NST稼働施設
- 日本栄養療法推進協議会NST稼働認定施設

●この度、2008年8月1日、兵庫県より肝疾患専門医療機関の認定を得ることになりました。

開院以来20年間にわたる当院の肝疾患に対する取り組みに対して評価頂いたことに対して誇りを感じると同時に責任の重さを痛感しています。

●既に御存知の方もおられると思いますが、現在日本における肝がんによる死亡率は西高東低の傾向が顕著であり、人口10万人あたり26.7人の全国平均に対して兵庫県は33.7人と高く、死亡者数は年間2000人近くに達し、全国4位に位置しています。兵庫県においては、肝がん対策は急務です。

●日本の肝がんの原因は80%はC型肝炎、10%はB型肝炎によるもので、アルコールは10%にも至っていません。そうした現状を踏まえるならば、日本の肝がん対策はそのままC型、B型ウイルス肝炎対策といつて過言ではなく、その治療の中心を占めるのはインターフェロン治療です。最近

の研究によれば、C型肝炎の場合、インターフェロン治療によってウイルス駆除することにより、肝がん発症のリスクを1/5～1/10に減らすことがわかってきました。ウイルスを駆除するためのインターフェロン治療については、この4月から公費助成制度がスタートし、経済的理由で治療を控えておられた患者様にも治療は容易になりました。

●C型肝炎の治療の進歩はめざましく、難治性であった1型高ウイルス量患者に対して90年代はウイルス駆除率が10%前後であったものが、21世紀に入り、ペグインターフェロン（週1回の皮下注射）とリパリン（内服薬）の48週併用療法により50%以上の駆除率です。2型高ウイルス量患者においては、24週併用療法で80%以上の駆除率です。日本には数少ない1型低ウイルス量、2型低ウイルス量患者についても併用療法でないインターフェロン単独療法（24週）でも80%以上の駆除率です。ただ、日本のC型肝炎保有者（約180万人）のうちその数が最も多い（70%）1型高ウイルス量患者

●当院においては、1992年の保険認可以来、病院診療所間の医療連携体制のもと600例近い患者様にインターフェロン治療を行ない、肝硬変への進展予防、肝がんの発癌予防を通じて多くの患者様の予後改善に実績をあげてきました。今後西神戸において、かかりつけの先生方との密な治療ネットワークを構築し、肝がん撲滅にむけてきめの細かい肝疾患対策をすすめる所存です。

●今回の認定にあたり、引き続き肝がんから肝がんまでのトータルケアに全力を注ぐことを表明し、御挨拶に代えたいと思います。

肝炎から肝がんまでのトータルケアをめざして

肝疾患専門医療機関認定にあたって

院長 金守良

「兵庫県の肝炎対策」

平成19年4月厚生労働省より、各都道府県に肝炎診療体制を整備するよう通知がありました。兵庫県でも、平成19年10月に「兵庫県肝炎対策協議会」が設置され、第1回協議会において、兵庫県肝炎診療連携拠点病院として、兵庫医科大学病院が選定されました。この度、県内の各医療圏に設置される「肝炎専門病院」・「肝炎協力医療機関」が指定されました。肝炎専門病院では、専門的な知識を持つ医師による診断と治療方針の決定が行われており、インターフェロンなどの抗ウイルス療法の実施、肝がんの高危険群の同定と早期診断、治療が要求されます。

肝炎専門医療機関・協力医療機関の選定基準

- 肝炎専門医療機関の要件 下記 1～6 が○、7～9 が○であること
- 肝炎協力医療機関の要件 下記 1～9 が○であること

神戸朝日病院は

①～⑥が○、⑦～⑨が○です。

- ① 指導医が2名在籍：金守良（指導医）、井本勉（指導医）
- ② 1992年にインターフェロンが保険認可されてから、すでに約600名の方に治療を行っています。
- ③ 腹部超音波検査の院内実施が可能です。
- ④ CT検査、MRI検査のどちらも院内実施可能です。肝がんの鑑別診断に有用な血管造影下に行うCT（CTA、CTAP）も院内で実施しています。
- ⑤ 肝生検の院内実施可能です。病理組織診断は院長が行っています。
- ⑥ 肝がんの治療（RFA、TAE、肝切除、肝動注化学療法）の全てを院内で行っています。
- ⑦ 肝炎対策協議会が実施する追跡調査に協力します。
- ⑧ 兵庫県がん登録に協力しています。
- ⑨ 肝炎診療連携拠点病院が開催する教育講演会は、毎回受講します。

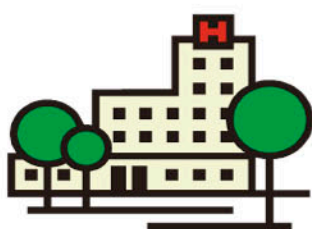
- 1 ○ 日本肝臓学会専門医が常勤で在籍
○ 日本肝臓学会専門医、日本消化器病学会専門医、日本外科学会専門医のいずれかが常勤で在籍
- 2 ○ インターフェロン治療導入の累積症例数が100例以上
○ インターフェロン治療導入の累積症例数が20例以上
- 3 ○ 腹部超音波検査の院内実施が可能
- 4 ○ CT検査、MRI検査のいずれかを院内実施可能
○ 他施設との連携も含め、CT検査、MRI検査のいずれかを実施可能
- 5 ○ 肝生検を院内実施可能
○ 他施設との連携も含め、肝生検を実施可能
- 6 ○ 肝がんの治療（RFA、TAE、肝切除、肝動注化学療法）のいずれかを院内実施可能
○ 他施設との連携も含め、肝がん治療のいずれかを実施可能
- 7 ○ 肝炎対策協議会が実施する追跡調査に協力
- 8 ○ 兵庫県がん登録に協力
- 9 ○ 肝炎診療連携拠点病院が開催する教育講演会を年1回以上受講



兵庫県肝疾患専門医療機関・協力医療機関リスト

平成20年8月1日選定

圏域	専門医療機関	協力医療機関
神戸	神戸大学医学部附属病院（中央区） 神戸市立医療センター中央市民病院（中央区） 川崎病院（兵庫区） 神戸朝日病院（長田区） 西神戸医療センター（西区）	神戸赤十字病院（中央区） 神戸労災病院（中央区） 神鋼病院（中央区） 甲南病院（東灘区） 六甲アイランド病院（東灘区） 昭生病院（灘区） 六甲病院（灘区） 神戸百年記念病院（兵庫区） 神戸市立医療センター西市民病院（長田区） 神戸医療センター（須磨区） 新須磨病院（須磨区） 神戸掖済会病院（垂水区） 社会保険神戸中央病院（北区） 神戸アドベンチスト病院（北区） みどり病院（西区）
阪神南	関西労災病院（尼崎市） 兵庫医科大学病院（西宮市） 県立西宮病院（西宮市） 明和病院（西宮市） 市立芦屋病院（芦屋市）	県立尼崎病院（尼崎市） 県立塚口病院（尼崎市） 大隈病院（尼崎市） 尼崎医療生協病院（尼崎市） 西宮市立中央病院（西宮市）
阪神北	市立伊丹病院（伊丹市） 近畿中央病院（伊丹市）	兵庫中央病院（三田市） 三田市民病院（三田市） 協立病院（川西市）
東播磨	明石市立市民病院（明石市） 県立がんセンター（明石市） 県立加古川病院（加古川市）	明舞中央病院（明石市） 加古川市民病院（加古川市） 高砂市民病院（高砂市）
北播磨	加東市民病院（加東市）	三木市民病院（三木市） 三木山陽病院（三木市） 市立小野市民病院（小野市） 市立西脇病院（西脇市）
中播磨	姫路赤十字病院（姫路市）	新日鐵広畑病院（姫路市） 網島会厚生病院（姫路市） 姫路聖マリア病院（姫路市）
西播磨	赤穂市民病院（赤穂市）	IHI播磨病院（相生市） たつの市立御津病院（たつの市）
但馬	公立豊岡病院（豊岡市）【暫定】	公立八鹿病院（養父市）
丹波	兵庫医科大学篠山病院（篠山市）【暫定】	県立柏原病院（丹波市）
淡路	県立淡路病院（洲本市）	



今回ご紹介した内容は以下のホームページで詳しくご覧いただけます。

○兵庫県庁ホームページ

<http://web.pref.hyogo.lg.jp> 肝炎対策協議会及び肝疾患診療連携体制について

○ウイルス除去療法を受けられることができる医療機関

<http://www.v-rad.jp/search>

○日本肝臓学会ホームページ

<http://www.jsh.or.jp> 専門医・指導医リスト、市民公開講座の案内や慢性肝炎理解のための手引きなど

兵庫県肝炎治療特別促進事業について

2008年4月1日よりB型およびC型肝炎のインターフェロン治療に対する医療費助成がスタートしました。

- この助成は、B型及びC型慢性肝炎の患者さまの早期治療を促し、肝硬変、肝がんといった重篤な病態への進行を未然に防ぐ観点から行われています。
- 患者さまを含む世帯が納めた市民税の年額に応じて1ヶ月のご本人のご負担額が1万円、3万円、5万円のいずれかに軽減されます。
- 助成は、交付申請書が受理された月初めから1年間で、兵庫県では、平成20年5月から申請受付が始まっています。神戸市内の方は、各区役所保健福祉部あんしんすこやか係が申請窓口です。

対象：以下の項目をすべて満たす方です

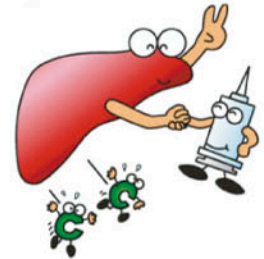
- ★兵庫県内に住所を有する方
- ★対象となる疾患（B型・C型ウイルス性肝炎）と診断され、右記の認定基準を満たしている方
- ★各種医療保険のいずれかに加入している方

認定基準：次の項目のいずれかに該当する方です

- ★HBe抗原陽性でかつHBV-DNA陽性のB型慢性活動性肝炎でインターフェロン治療を行う予定、又はインターフェロン治療実施中で肝がんの合併のない方
- ★HCV-RNA陽性のC型慢性肝炎及びC型代償性肝硬変でインターフェロン治療を行う予定、又はインターフェロン治療実施中で肝がんの合併のない方

助成の対象となる医療は？

B型及びC型肝炎ウイルスの除去を目的として行うインターフェロン治療で保険適用となっている医療です。インターフェロン治療にかかる初診料、再診料、検査料、入院料、薬剤料が対象です。



当院でも実施しています！

C型肝炎ウイルス除去療法のご紹介

2008年4月から保険適用になった新しい治療法です。血液をからだの外に取り出し、血液中のウイルスを特殊なる過膜で除去してから、血漿と血球成分を一緒に体内に戻す治療法（二重濾過血漿交換療法：DFPP）です。インターフェロン療法と併用することで、治療効果の向上が期待されます。保険認可までに行われた臨床研究では、インターフェロン療法単独の治療では58人中、ウイルスが完全に消えたのは29人（50%）で、このウイルス除去療法を併用した24人では17人（71%）という結果が出ています*。

* K.Fujiwara et al. Hepatology Research:37:701-710,2007より引用

編集後記

今回は、肝疾患専門医療機関認定を受け、初めて号外を発行しました。次号の「かけはし」から、肝疾患について、いろいろな情報をシリーズでお届けする予定です。（谷口）

◆ウイルス除去療法の保険適応の条件◆

以下の条件を満たす方です

- ▶ 慢性C型肝炎のうち、セログループ1（ジェノタイプⅡ（1b）型）
- ▶ 直近のインターフェロン療法後の、血液中のHCV-RNA量が100KIU/ml以上の方

- ウイルス除去療法は、血液検査の数値をみながら、最大5回実施します。1回の治療時間は約2-3時間です。
- 日本のC型肝炎ウイルス感染者の約6割がジェノタイプⅡ（1b）型です。
- インターフェロン療法だけでは、ウイルスがなかなか消えない難治性のC型慢性肝炎患者さまは、是非一度ご相談下さい。

